

各地の自然災害で被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。神様の慰めと助けがありますよう、お祈りしております。

チャペルコンサート Vol.52 ～ゴスペルのタベ～

入場無料

7/28(日)
16:00～

出演: ジョイフル・ホープ・ゴスペルクワイヤー

インストラクター: MOMO大久保和慧 (ピアノ&指揮)

ゴスペルのタベは今年で10回目を迎えます。これまでの感謝を込めて、今年も熱いコンサートをお届けします。



【プログラム】

★Hosanna ★Joy ★September
★My Life is in Your Hands ★ガリラヤのイエス
★Better ★In the Sanctuary etc.

♪今回歌う歌詞の一節をご紹介します♪

September ～ゴスペルバージョン～

Do you remember, when it was like September?
Before you grew cold like December
And all you saw were cloudy days
And I remember, that day when you surrendered
You stopped hurting cause you remembered
The season it won't last always

*Ba de ya, tell me you remember
Ba de ya, when your heart felt like september
Still had the joy, and God was just a prayer away

Ba doo doop ba doop, ba doo doop ba doop
(I can see clearly now)
Ba doo doop ba doop, ba doo doop ba doop
(The sun is much brighter now)
Ba doo doop ba doop
(The season it won't last always)

Seemed like forever
You said when will my life get better
I'm tired of stormy weather
But the sun always shines in May
So just remember
The next time you feel like December
Remember that night in September
When God wiped all your tears away

【訳】 9月のようなあの日のことを 覚えているかい?
12月の風のように 冷たくなる以前の君を
君の目には 薄暗い曇り空しか見えなかったけど
でも僕は覚えているよ 君はあの日 自由になったんだ
君は自分を傷つけることを やめたんだよね
同じ季節がいつまでも 続かないことを思い出したから

*覚えているよ 君の心が9月のように感じたあの日を
喜びがあるのは 神様がとりなしてくださっていたから

今なら ハッキリ見えるよ
太陽は思ったより 明るく輝いている
同じ季節は いつまでも続かないよ

永遠に こんな日が続くような気分になるよね
いつになったら 自分の人生は
マシになるのかな? って言ったよね
僕だって 荒れ狂う天気に塞ぎ込むこともあるよ
でも 5月の太陽はいつも輝いているよ
だから 思い出して
今度12月のように 感じる時が来たら
あの9月の夜を 思い出して
神様が君の涙を拭ってくれた あの夜のことを

森繁 昇サマーコンサート Vol.17 8/25(日) 15:00～

教会のひとこま

花の日訪問

子どもたちが近くの交番と消防署を訪問し、お花を届けました。いつも働いて、私たちの安全を守ってくださっている方たちへの、感謝の心を忘れないようにしたいですね。



結婚式

この日、二人の若者が、神様の前に結婚の誓いを立て、新しい門出を迎えました。これから神様の愛に溢れた家庭を築いてほしいと願います。



宝塚栄光教会 牧師: 岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル

毎週更新。24時間つながります。

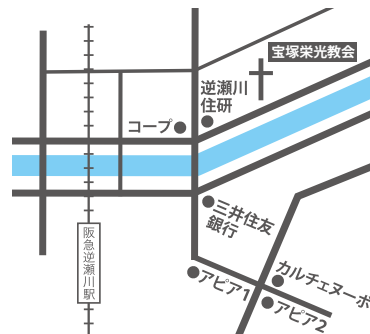
0797-77-3746

ポッドキャスト
でも配信!
ホームページから
利用できます。

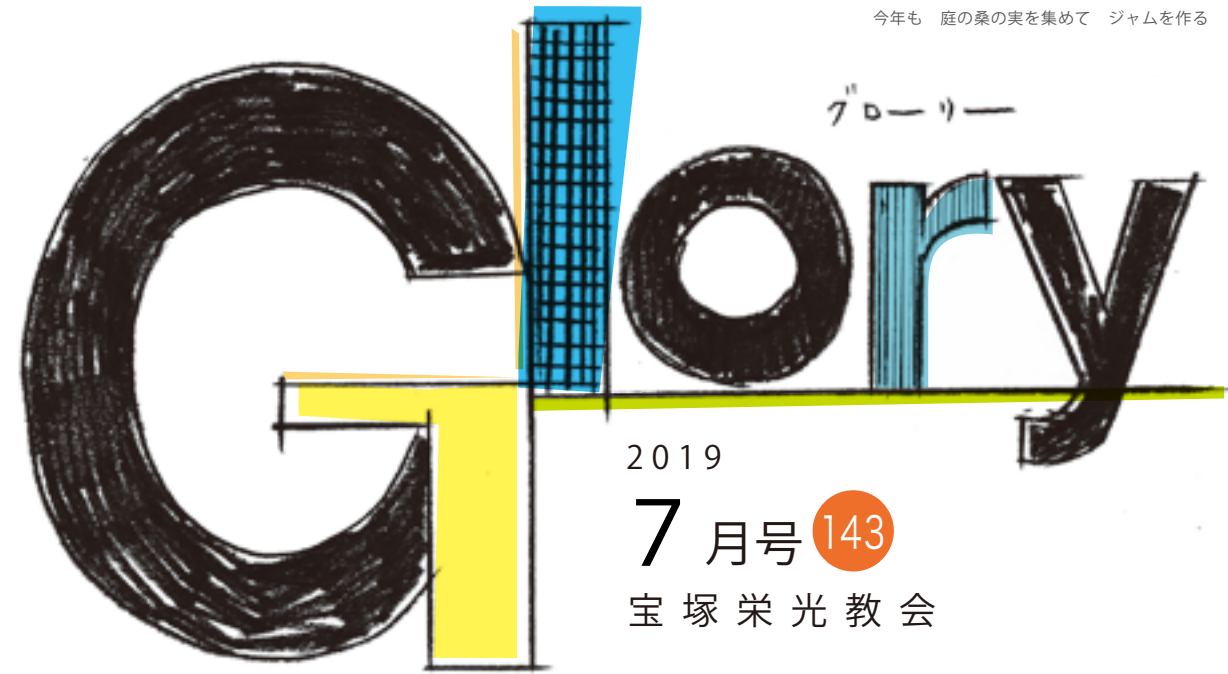
礼拝 毎週日曜日
10:30～11:40



わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく、正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



今年も 庭の桑の実を集めて ジャムを作る



重荷を下ろせるところ

“人の一生は重荷を負いて遠き道を行くがごとし”。これは、江戸幕府を開いた徳川家康が書き残したと言われる言葉です。確かにそうです。だれでも、多かれ少なかれ、重荷を背負っています。心の悩みや生活上の問題など、様々な重荷が私たちの肩にのしかかってきます。しかし、キリストはこう言われました。「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」(マタイの福音書11章28節)

私たちは、どんな重荷を背負っているのでしょうか。仏教では、人には、生きること、病気になること、年を取ることを、そして死ぬことの4つの苦しみがあると言います。なぜ生きることが苦しみになるのでしょうか。様々な災いや困難があるからでしょうか。それだけではないでしょう。

重荷とは、私たちの外側にではなく、内側に、私たちの魂の中にあります。人を愛したいのに愛せない、赦したいのに赦せない、喜んでいる人と一緒に喜んであげることがで

きない…というような、自分の内面の醜さに気がつかれたことはありませんか。聖書では、それを「罪」と言います。罪をもったままでは、私たちの内に、喜びも平安もありません。私たちが本当に苦しめる重荷とは、この罪なのです。キリストは、そういう罪の重荷を取り除いてくださるのです。

キリストは、私たちが罪から救うために、十字架にかかって死なれました。私たちが、自分の罪を悔い改め、キリストの十字架が自分のためだったと信じるなら、誰でも、どんな罪も赦されます。罪の重荷が取り去られるのです。この時、私たちの魂に、平安が与えられます。誰も奪い去ることができない平安です。そして、この魂の救いをいただいたら、心の悩みやトラブルも、自ずと解決されてくるのです。

あなたが今背負っておられる重荷は、必ずキリストが下ろさせてくださいます。キリストのもとに行きさえすれば、きっと解決が与えられます。どうぞ、そのままキリストのもとに行きましょう。



「 タチアオイ ー夏の草花ー 」

今年も 早や7月を迎える
木々の緑は 日に日に色濃くなり
太陽の陽射しも まぶしく 夏の到来を思う

この時季 いつも通る道の端に咲き始める タチアオイの花がある
鮮やかな美しい花の色と 豪華な花の姿に驚くのは
だんだんと 花の数が増えていくからだ
ちょうど 梅雨入りの頃から咲き始めると 聞いていたが
今年は なかなか梅雨に入らない
水枯れに なってしまわないかと心配したが どうやら 花が咲いた
茎の下の方から咲き始め 徐々に上の方の花が咲いて
てっぺんの方の花が咲くと 梅雨が明けると 言われている

中国原産と考えられていたが
現在は トルコや地中海沿岸が原産という説が 有力らしい
タチアオイは 1mから3mの高さになるという
細い茎をまっすぐ上に伸ばすのが 名前の由来で
葵は どんどん太陽の方に向かうので あうひ (仰日) というそうだ
すつくと立ち 上に伸び上がるタチアオイの先には 大空が広がっている
夏の到来を告げるには ふさわしい花である

わたしは 主を仰ぎ
わが救いの神を 待つ
わが神は わたしの願いを 聞かれる
ミカ7章 (聖書)